

新県立博物館 平成 26 年度の企画展示 実施計画（案）

1 新県立博物館の企画展示のイメージ

県民・利用者
のみなさん

（これまで博物館
を利用したこと
がない人を含む）

- さまざまな興味・関心・ニーズ
○さまざまなアプローチ
■博物館に関心のない人、これまで博物館へ行ったことがない人も多い

多角的・多彩な展示

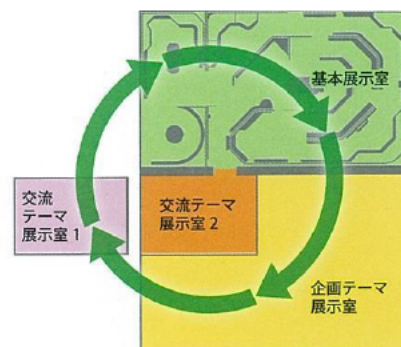
- ① 三重の魅力を多角的に伝える展示（総合の強みを生かす、三重のことがわかる）
- ② みんなで一緒につくる展示
- ③ 子どもたちを育む展示
- ④ 全国レベルから、身近な・小さな話題まで多彩な展示
- ⑤ 訪れるたびに新しい視点や角度で見ることができる展示

★ 関心のない人への新アプローチ
博物館の枠組を越える、楽しく挑戦的な“おもしろい”展示

新県立博物館



多角的・多彩な展示を展開



基本展示などと連動する展示

2 企画展示の展開の考え方

基本展示とともに展示活動の根幹をなす企画展示は、国宝・重要文化財の展示が可能な優れた展示環境を有し大小多様な空間利用ができる企画展示室、柔軟な活用が可能な交流展示室など展示室の特性を活かして、複数のテーマによる大小さまざまな展示をフレキシブルに組み合わせさせて展開します。

調査研究活動などの成果をベースに三重の自然と歴史・文化やこれにちなむ幅広い魅力を紹介する自主企画展や全国巡回展を年数回程度開催するとともに、これらと並行して、県民や諸団体・企業・大学・県部局などとの交流（連携）展、基本展示の内容との関連または分野別・地域別などさまざまな切り口の小規模なトピック展を開催します。

その中には、博物館に関心のない人も一度行ってみようと思うような、これまでの博物館の枠組を越える楽しく挑戦的な“おもしろい”展示や、学校教育に活かせる展示を織り交ぜ、博物館利用者の輪を一層広げて行きます。

企画展示室等構成概念図

2 階

《休憩スペース・ミュージアムショップ》

交流展示室
(200㎡)

《エントランス》

3 階

《学習交流スペース》

壁面ケース			
企画展示室 (4) (200㎡)	(1-1) (200)		壁面 ケース
	(3) (100)	企画展示室 (600㎡) (2) (100)	(1-2) (200)
壁面ケース		壁面ケース	

3 平成 26 年度の企画展示

開館年度の企画展示は、総合博物館の特色を生かして、新県立博物館の姿勢や各分野を代表するテーマによる複数の「開館記念特別企画展」、また、三重県博物館協会やまちかど博物館・県内企業などとの連携による交流展、基本展示を補完するトピック展など、さまざまなニーズの来館者に三重の多様で豊かな自然や歴史文化を感じて頂ける展覧会を計画しています。計画にあたっては、次の点に注力しています。

- ① 新県立博物館の特色、めざす姿・活動の方向性を示す
- ② 三重のすばらしさを全国に発信、また、県内での認識を高める
- ③ 多様な主体との連携を図り、博物館とのかかわりを広める
- ④ 子どもたちの学びや家庭での対話を支援する
- ⑤ 博物館の枠組を越える、楽しく挑戦的な“おもしろい”展示を展開する

このうち、年度上半期には、下表に掲げる、開館記念特別企画展3回、交流展1回、トピック展1回の開催を予定しており、開館に向けての諸準備と並行して、個別の展示内容の検討や資料所蔵者（機関）への打診などの準備を進めています。

【 平成 26 年度上半期の企画展示計画 】

H26 年度 月	3 階					2 階
	企画展示室					交流展示室 (200㎡)
	1-1 (200㎡)	1-2 (200㎡)	2 (100㎡)	3 (100㎡)	4 (200㎡)	
4 月						
5 月	開館記念特別企画展〔第1弾・春季〕 800㎡ 「【仮】おっ、博物館が語りはじめた！ ～収蔵資料にみる三重の姿～ 」《総合》					トピック展 「【仮】汗と 涙とこだわ りと・・・ 10,000日間 の記録」
6 月	開館記念特別企画展〔第2弾・春季〕 600㎡ 伊勢神宮式年遷宮写真展 「【仮】 継承と再生 」					
7 月	交流展 900㎡ 三重県博物館協会 40 周年記念 「【仮】我が館はここから始まった 」			仮ミエゾウ 展 プレ展示		
8 月						
9 月	開館記念特別企画展〔第3弾・夏季〕 1000㎡ 「【仮】 “国内最大” ミエゾウがここにいた！ ～ ミエゾウが繁栄した世界とその終焉 ～」《自然》					
10 月 ～ 3 月	年度後半については、下記の展示の実施について計画を策定中 ・ 三重の貴重な文化財の企画展、歴史的公文書を活用した企画展 ・ まちかど博物館や県内企業との交流展示 ・ むかしの道具など子どもたちの学びを支援する展示（毎年定番化を検討） ・ 博物館の枠組を越える、楽しく挑戦的な“おもしろい”展示					

平成 26 年度上半期の企画展示

1 開館記念特別企画展 第1弾

「(仮題) おっ、博物館が語りはじめた! ～ 収蔵資料に見る三重の姿 ～ 」

【内 容】 博物館が収蔵する、三重の豊かな自然や文化を物語る資料、また次世代が過去や未来を考えるうえで必要な資料を、そのものが持つ“すごさ”とともに紹介します。また、県民の皆さんとともにいった、博物館資料を活用した取組を介して、新しい博物館が目指す方向性を提案します。

【ポイント】 ・収蔵資料 28 万点から、担当学芸員がご覧頂きたい資料を厳選。
・資料の一つひとつに秘められた歴史、収蔵された理由を、資料採集者・寄贈者・担当学芸員の思いとともに紹介。

【主な資料】鳥居古墳押出仏、東海道五十三次之内庄野、三重県水産図解、伊藤又五郎家文書、古萬古盛蓋瓶(こばんこ せいさんびん)、浮絵駿河町呉服屋図、世界のカモシカ類、トリケラトプスほか



歌川広重
東海道五十三次之内 庄野



こどもたちによる
お雑煮カードの整理作業



世界のカモシカより
シロイワヤギ



トリケラトプス

2 開館記念特別企画展 第2弾

伊勢神宮式年遷宮写真展「(仮題) 継 承 と 再 生 」

【内 容】 開館記念第2弾として、三重を語る上で欠かせない伊勢神宮を取り上げます。三重県出身の写真家南川三治郎氏が撮影し続けてきた、式年遷宮の様々な情景を静謐な雰囲気の中で展示します。古来から変わらない神宮の自然のなか、古式どおり再現される伊勢神宮式年遷宮を通じ、日本の伝統や文化の継承の大切さを再認識できる写真展とします。

【ポイント】 ・式年遷宮に係わる祭典、それを取り巻く自然、地域と人についての作品約 80 点を企画展示室の大空間において静謐な雰囲気の中で展示。
・作品を伝統産業の伊勢和紙に印刷し、厳粛な儀式や神域の自然をやわらかく、清浄で風合いゆたかに表現。

【共 催】 中日新聞社

【主な資料】南川三治郎氏撮影の式年遷宮写真



3 トピック展

「(仮題) 汗と涙とこだわりと… 10,000 日間の記録

～ 三重県総合博物館ができるまで ～ 」

【趣 旨】 平成 26 年春に三重県総合博物館(仮称)が開館するまで、県民・利用者のみなさまが、“わたしの博物館”と思って大事に使ってもらえる博物館づくりのために、

歯をくいしばり、汗と涙、そして、笑いにまみれながらの博物館づくりにこだわり続けた昭和 60 年から平成 26 年の開館までの 10,000 日間の様子を紹介します。

〔ポイント〕 ・めざす博物館を実現するために、学芸員たちが何にこだわったか、その理由をそれぞれの思いとともに紹介。

【主な資料】現博物館の活動写真、新県立博物館の建築・展示製作の検討にかかる模型・資材・材料検討資料、ティーンズプロジェクト関係資料ほか

4 交流展 三重県博物館協会 40 周年記念

「(仮題) わが館はここから始まった

～ 県内博物館・美術館・資料館・水族館 61 館大集合 ～ 」

【内 容】 三重県博物館協会加盟の 52 機関 61 施設が集まり、各館の成立に関わる「わが館はここから始まった」という一品を展示します。また、各館の特徴ある学芸員の仕事の紹介をします。

〔ポイント〕 ・博物館・美術館・資料館だけでなく水族館など多様な館が一堂に会す。
・水族館も含めた学芸員の仕事を紹介し、来館者の多様な興味関心に対応。

【共 催】 三重県博物館協会加盟館園

【主な資料】 三重県博物館協会加盟の各館園の創立に関わる資料や特徴をあらわす資料(例：松阪市文化財センターの船形はにわ、昭和天皇の戦後初行幸で新聞報道された三重県立博物館現蔵の動物標本など)ほか



戦前の神宮徴古館



昭和天皇行幸時の写真：剥製は県博で収蔵



宝塚 1 号墳 船形はにわ

5 開館記念特別企画展 第 3 弾

「(仮題) “国内最大” ミエゾウがここにいた！

～ ミエゾウが繁栄した世界とその終焉 ～ 」

【内 容】 全長 8 m 近くある国内最大の陸生哺乳類-ミエゾウ- の足跡が、展示を行うまさにその場所から発見されました。今回、約 350 万年前のミエゾウや当時の様々な化石、その後のミエゾウが進化して小型化したアケボノゾウや当時の気候激変の証拠となる化石を一堂に展示します。

〔ポイント〕 ・全国各地のミエゾウ化石を集約する
・新博物館建設の“現場”で発見された足跡・さまざまな化石の臨地性
・県立博物館が長年、県民の方々や専門家と調査してきた資料・データ
・子どもたちが楽しめる体験コーナーを設置

【協 力】 宇佐市教委、国立科学博物館、中国科学院古脊椎動物・古人類研究所ほか

【主な資料】ミエゾウ明標本（実物）、古琵琶湖層群産巨大足跡群（15×5.6m）、コウガゾウ等の全身骨格、全国産出のミエゾウなど化石ほか



ミエゾウ明標本



コウガゾウ全身骨格標本



ミエゾウ足跡化石展示イメージ